科目区分	専門教育科目	授業科目名		プレゼミナ-	ール	科目コード	24L511	担当者	武藤 玲路、濵[コ なぎさ、森 弘	行、江頭 万里子		担当形態	オムニバス
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネ ス・医療秘書コース	配当年次	1年次 開講学期 前期			単位数	1	必修・選択 の別	必修	免許・資格要件				
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法	科目区分		
実務の経験	を有する教員担当科目	該当		検内容及び の関連	実務経験者がゲス	ト講師として	キャリアアッ	プに関する授	業を数回担当する	•	施行規則に 定める 科目区分等	科目に含める ことが必要な 事項		

授業の主題	1) 問題を発見し解決する力、根拠に基づいて論理的に思考する力を身につける。 2) 情報取集力とデータ活用力、効果的なプレゼンテーション力を身に付ける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	定期的にプレゼンテーションの場を設け、自己評価、他者評価等を参考にフィードバックを行う。
授業の方法	学生による主体的・能動的な学修形態をとり、授業の時間は進捗状況の発表、作業の打ち合わせなどが中心で、それ以外の時間を調査・研究に充てる。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	教室内でのグループ・ディスカッション、グループ・ワークを行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	自己理解と他者理解	授業の振り返りと関連学習。	第9回	プレゼンの考案 2	授業の振り返りと関連学習。
第2回	私の働き方と生き方	授業の振り返りと関連学習。	第10回	プレゼンの考案3	授業の振り返りと関連学習。
第3回	自己分析	授業の振り返りと関連学習。	第11回	リハーサル 1	授業の振り返りと関連学習。
第4回	企業研究	授業の振り返りと関連学習。	第12回	リハーサル2	授業の振り返りと関連学習。
第5回	スライドの作成 1	授業の振り返りと関連学習。	第13回	リハーサル3	授業の振り返りと関連学習。
第6回	スライドの作成 2	授業の振り返りと関連学習。	第14回	リハーサル4	授業の振り返りと関連学習。
第7回	スライドの作成3	授業の振り返りと関連学習。	第15回	成果発表会	授業の振り返りと関連学習。
第8回	プレゼンの考案 1	授業の振り返りと関連学習。			事前·事後 学修時間 (分/授業1回) 45分/授業1回

教科書 [書名/著者 名/出版社]	必要に応じでプリントを配付する。	受講生への	プレゼミナールは「考える」「行動する」「発信する」ことを身につけ、2年次のゼミナールへとつなげる授業です。将来の人生設計や企業研究を通して、自ら課題を探し解決策を考えることがで
参考書 [書名/著者 名/出版社]	なし		るける反案とす。特末の人主政計で圧棄明先を通じて、自ち訴題と床び呼び戻を考えることができ、社会の一員としての自分の立ち位置を見つけることができるでしょう。

	評価基準																
		学修		配	評価	方法の	配点	i比率	(%)		学修成果の小分類		尺度				
		成果の大分類	学修成 果の 中分類 [10の カ]	点比率(%)	定期試験	臨時試験	出一系	発表为容	評	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル1 (F:59%以下)
	尽	態度・	① 学習 意欲	40	40)	授業への参加意識が欠 如することなく、向上 心を持って真面目に受 講することができる。	勤勉性、真面目さ 学習意欲、向上心 自己管理力	提出物 (プレゼン資料の 作成)	未作成0回で40点。	未作成1回で35点。	未作成2回で30点。	未作成3回で25点。	未作成4回で20点。
	ù	志向	② 規律性	10	0 10)	私語や居眠りをすることなく、人として守る べき善悪や是非の判断 ができる。	規律性 ビジネスマナー 職業倫理	受講態度(私語・居眠 り)	注意0回で10点。	注意1回で8点。	注意2回で6点。	注意3回で4点。	注意4回で2点。
		知識	③ 知識														
		技能	④ 技能														
観	創	思考・	⑤ 情報活 用能力	10		1	0			テーマに関する主張に ついて、根拠となる データやグラフを用い て説明できる。	PC・表計算スキル	活動報告書	根拠データを検索して 90%以上的確に作成でき る。10点。	根拠データを検索して 80%以上的確に作成でき る。8点。	根拠データを検索して 70%以上的確に作成で きる。6点。	根拠データを検索して 60%以上的確に作成でき る。4点。	根拠データを検索して 50%以上的確に作成で きる。2点。
点	造	判断	⑥ 課題 解決力	10		1	0			テーマに関する問題を 発見し、論理的・創造 的な思考で、解決策を 模索できる。	問題発見力 論理的・創造的思考力	活動報告書	根拠データを90%以上的 確に使用して問題を解 決できる。10点。	根拠データを80%以上的 確に使用して問題を解 決できる。8点。	根拠データを70%以上 的確に使用して問題を 解決できる。6点。	根拠データを60%以上的 確に使用して問題を解決 できる。4点。	根拠データを50%以上 的確に使用して問題を 解決できる。2点。
		表	⑦ 言語活 用能力	10			1	10		テーマに関する活動や 成果について、的確な 文章表現や文章構成が できる。	文章表現力 文章構成力	成果発表会	プレゼミ活動の90%以上 を的確に表現できる。 10点。	プレゼミ活動の80%以上 を的確に表現できる。8 点。	プレゼミ活動の70%以 上を的確に表現でき る。6点。	プレゼミ活動の60%以上 を的確に表現できる。4 点。	プレゼミ活動の50%以 上を的確に表現でき る。2点。
		現	⑧ コケー シカ カ	10			1	10		テーマに関する活動や 成果について、的確な プレゼンや意思伝達が できる。	意思伝達力 プレゼンカ	成果発表会	プレゼミ活動の90%以上 を効果的に説明でき る。10点。	プレゼミ活動の80%以上 を効果的に説明でき る。8点。	プレゼミ活動の70%以 上を効果的に説明でき る。6点。	プレゼミ活動の60%以上 を効果的に説明できる。 4点。	プレゼミ活動の50%以 上を効果的に説明でき る。2点。
	実	行動・	⑨ 主体性	10				10)	テーマに対して、主体 的・自主的に取り組む ことができる。	自主性 行動力	活動状況の観察	プレゼミ活動に90%以上 主体的に取り組むこと ができる。10点。	プレゼミ活動に80%以上 主体的に取り組むこと ができる。8点。	プレゼミ活動に70%以 上主体的に取り組むこ とができる。6点。	プレゼミ活動に60%以上 主体的に取り組むことが できる。4点。	プレゼミ活動に50%以 上主体的に取り組むこ とができる。2点。
	践	応用	協働性														

合計

100

20 20 60